
呪われた本 2

須崎杏子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

呪われた本2

【Nコード】

N4994E

【作者名】

須崎杏子

【あらすじ】

ある男の子は歴史を調べるため図書館にいった。そこで興味深い本を広げると光に包まれ

「あゝ、暇だなあ」

とある男の子が本を振り回しながら歩いています。

「歴史の本探すの面倒だ」

じつはある宿題で歴史のことをなんでもいいから一つ探して面白可笑しく発表しろとのこと。

「ん？」

なにか面白いものを見つけた。題名は焼けつくされた歴史の謎だ。

「これがいいかな」

そして立ち読みしてみると本が光を発した。そのまま男の子は意識を手放していった。

「いつてー」

なんとも不幸なことに頭から落ちていった男の子だった。そしてあたりを見渡すと女の子がいた。

「あのー、ここどこだか知りませんか？」

「は？ 僕も知らないけど」

女の子も本が発する光に飲まれたらしい。

「それより、誰？」

「私は舞。あなたは？」

「僕は寛人だけど。まあいいや。出るところ探さなきゃ」

そういつてどっかいこうとすると手をにぎってきた。舞である。

「私怖いの。だからつれてって？」

「えっ……」

ちよつとドキつとした寛人であった。

「じゃあ、本をさがすぞ。ここからでなきゃいけないからさ」
そういつて図書館にいった。

「そこにある？」

「ないよ」

一時間さがしたその時……。

「……なにこれ。呪われた本？」

「どれどれ」

のぞきこむとここからでるほうほうが記されていた。

「私はなにごとか、光に飲み込まれてしまった。そのときなにか文字が見えた。「あなたは別の世界に居る時、なにか脱出する方法が分かるであろう」と。」

そしてでたために脱出する方法を探した。多分推測であろうが、やってみないことにはためであろう。」

「僕も探してみたけど。呪われた本全8巻」

「ええ！？」

2巻目を見てみるとこう記されてあった。

「へまともや飲み込まれてしまった。どうやら呪われた本は何百にも及ぶらしい。二回目だが、私が推測していた方法は間違いなかった！ 占いにも役立つことがあったんだな」

「占いかよ」

そして三巻目もみる。

「私はなんかいまきこまれるのだろうか。これで三回目。あることを発見した。ここの流れる時間は元の場所よりも遅く時間が流れている。こっちで一分間時間が流れていたでしょう。あちらでは十分も早くながれるのだ。これは十倍もの遅さでながれていると分かる」

「まじ？」

「うん」

さらに四巻目。

「ああああああああああ！　なんといいことであるう！　四回目だ！　もはや私もどーするともーできないぜー」
「テンションあがった！　性格かわった！」
「もともとこういう人なんじゃないかな」
さらにさ「省略

「今回もあるはっけんをした。ここにある時空は本来ある場所を移したらしい。だから家にはいりほうだいゲームしほうだいヒャッホウ！」

「まじ？」

「やろう」

「ゲームをやつてー」

「アクセ盗んでー」

さらにさら「省略

「六回めだによーん（・・・）　またもや発見！　ハムスターを飼つてみて（盗んで）そのまま放置しておいても死ななかつた！　そして同じ本からワープ能力はきえることないのだ！　それではタダで何か食べれる！　そしてここで食べ物食べてももう一度くると復元されているのだー！！」

「ハムスター盗もう」

「もういちど入ろう」

さら「省略

「なーなー回目！　呪いの本を集めて人に配布してみたところだいぶ売れたぜ　さあ、多分図書館のを見ているだろうから私の所にきてごらん！　大人5000円子供100円で売ってるぜ！　住所は〜」

「やつす！」

「いってみよう」

さ省略

「八回目、またもやはっけんしたことがあるぜ！　ここでゲームをいつまでもしても視力悪くならないぞ！　しかも私達は年をとらない！　」

「うっは！」

「不老不死！」

そしてそこで本はとぎれていた。

「死んだのかな？」

「横着しすぎたんだろう」

「さっそく」

「モノを盗もう」

ピューっとものを盗みにいったやつらであった。そして会う約束をしてあの本をつくった人にであって一生別世界でくらすみたいな。

（後書き）

前の呪われた本とは違う人物で、詳しく書こうとしたところコメデ
イーみたいなかんじになりました（笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4994e/>

呪われた本 2

2011年10月4日06時27分発行